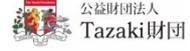
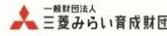


## PDA 神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会2025

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2025年11月1日(土) 11:30-16:30

会場：神奈川県立横浜平沼高等学校



参加校：18校（横浜平沼、横浜国際、横浜翠嵐、光陵、大和、川和、柏陽、多摩、横須賀、鎌倉、横浜緑ヶ丘、湘南、小田原、茅ヶ崎北陵、相模原、厚木、希望ヶ丘、平塚江南）

参加者：生徒122名、教員50名

スタッフ：PDAスタッフ、東京大学、東京外国語大学

主催：神奈川県教育委員会、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

主管：学力向上進学重点校エントリー校連絡協議会 グローバル教育研究ワーキンググループ

はじめに、学力向上進学重点校及びエントリー校連絡協議会グローバル教育研究WG代表・横浜翠嵐高等学校の師岡健一校長先生より「いろいろな意見交換をしたり、ディベートを振り返ったりしながら交流を楽しんでください。そしてジャッジの先生からのコメントを、英語力を伸ばすためにぜひ役立ててください。」とご挨拶いただきました。次に、神奈川県教育委員会高校教育課国際・情報教育グループ西澤指導主事より、「楽しむことを忘れずに、自らの成長を意識し、昨日の自分を超越することを目指して頑張ってください。」と英語で激励のメッセージをいただきました。そして、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事の中川智皓より、「どんな人にとってもわかりやすいスピーチを心がけることが重要です。ジャッジの先生からのフィードバックからもたくさんのご意見を吸収してください。」とメッセージが送られました。

その後、PDAスタッフより、参加校の紹介が行われ、学校名が呼ばれた高校の生徒は、元気にPOIのポーズをしたり、校訓に準えたりしながら意気込みを述べました。続くトロフィー返還式では、昨年の上位3校（1位相模原高校、2位横浜緑ヶ丘高校、3位湘南高校）がそのトロフィーを返還しました。そして恒例となっているPOI (Point of Information) の練習を行い、ディベートの実践に移りました。



師岡校長先生のご挨拶



西澤指導主事のご挨拶



トロフィー返還式（相模原高校）



参加校の紹介（川和高校）

第1ラウンドのお題は“*Term-exam should be abolished.* (定期テストは廃止すべきである。)”でした。定期テストという身近なテーマだったため、各チームとも自分の経験などの具体例を盛り込み、説得力のあるスピーチを行っていました。肯定側は、定期テストを廃止することで生徒の努力の過程をより適切に評価できると主張したり、一夜漬けで詰め込もうとする生徒の傾向を分析したりするなどして、定期テストのデメリットを強調していました。一方、否定側は、定期テストは生徒を評価するための最も公平で効率的な手段であると主張し、生徒の学力向上のためにも、自分の実力を測ることのできる定期テストは実施し続けるべきだと述べていました。

生徒の学力向上といった論点のほかに、社会全体の利益や教員の負担軽減といった点に注目しているチームも多く、多面的な思考力が存分に発揮されていました。また、多くのチームが自分の意見を押し通そうとするだけでなく、POI や反論の時間を活用して相手チームの論点を深め、複雑で踏み込んだ議論を展開していました。白熱したディベートが終わった後は、相手チームと楽しく会話するなど、他校との交流も盛んに行われました。



柏陽高校 VS 横浜国際高校



大和高校 VS 湘南高校



相模原高校 VS 横浜翠嵐高校



光陵高校・茅ヶ崎北陵高校



小田原高校・横須賀高校



横浜平沼高校・横浜緑ヶ丘高校



相模原高校・横浜翠嵐高校

第2ラウンドのお題は“*The establishment of casinos brings more harm than good.* (カジノの設立は利益よりも害をもたらす。)”でした。各チームはカジノの特性を踏まえながら、その影響について自分たちの言葉で説明していきました。肯定側は、カジノがギャンブル依存症患者の増加や病状の悪化を助長する点を中心に主張し、さらに治安の悪化といった社会的問題にも言及しました。また、自分たちの論点の重要性を他の主張と比較しながら説得的に示すチームもありました。一方、否定側は、カジノがもたらす経済効果に焦点を当て、カジノが導入されている他都市の事例を挙げながら、具体的にどのような利益が生まれるのかを説明しました。ジャッジに経済的利益のイメージを鮮明に想起させるようなスピーチに取り組む工夫も見られました。

全体として、どのチームもこの政策の導入によってどのような人々がどんな影響を受けるのかを多角的に分析しており、論理的で想像力豊かなディベートが展開されていきました。スピーチ後には、それぞれのジャッジの講評に熱心に耳を傾ける姿が見られ、今回の論題についてさらに深く考えるきっかけになりました。



大和高校 VS 多摩高校



横浜平沼高校 VS 鎌倉高校



厚木高校・平塚江南高校



希望ヶ丘高校・湘南高校

続く第3ラウンドのお題は、“*Anonymous writing on the Internet should be prohibited. (インターネット上での匿名の書き込みは禁止されるべきだ。)*”でした。肯定側は、匿名での書き込みが認められているからこそ起きているネット上でのいじめや犯罪などの問題を取り上げ、匿名での書き込みを禁止し、誰が書き込んだのかがわかることで抑止力が働くといった論点について事例などを交えながら説明しました。対する否定側は、匿名での書き込みを必要とする人を具体的に分析し、政治的な議論を交わしたい人、センシティブな問題について相談をしたい人などがどう困ってしまうのかについて説明しました。教員によるジャッジコメントの時間は、教員より勝敗に関する説明だけでなく一人ひとりにフィードバックが伝えられ、生徒たちは今後の学習に活かそうとメモをとりながらフィードバックに聞き入りました。



平塚江南高校 VS 横浜国際高校



光陵高校 VS 横浜緑ヶ丘高校



教員によるジャッジコメント

次のプログラムであるエキシビジョンディベートの前に、本大会の運営をしているスタッフ（東京大学）がディベートをする際に重要なポイントについてレクチャーし、第3ラウンドの論題でPMスピーチを披露しました。スピーチの構成や、具体例を述べるときに意識すべきことなどレクチャー内容を反映したスピーチに生徒たちは熱心に耳を傾けていました。



そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベータが発表されました。論題は **“It is better to confess your love through social media than face-to-face. (対面よりもソーシャルメディアで愛を告白する方が良い。)”** でした。日常的なテーマながらも、生徒たちは真剣な表情で議論を交わしました。壇上では、肯定側・否定側のそれぞれ3名が緊張感の漂う雰囲気の中、明確な主張と冷静な分析をもってスピーチしました。ジャッジは、PDA認定教育ジャッジを含む教員9名が務め、発言の論理性やチームワーク、説得力など多角的な観点から評価を行いました。

ディベートでは、「告白の成功率」がひとつの焦点となり、肯定側は「対面では雰囲気に左右されやすい」と主張しました。対する否定側は「ソーシャルメディアでは記録が残り、いじめやトラブルの火種になるおそれがある」といった問題を提起し、議論の幅を広げる論点を提示しました。両チームとも、身近な経験や想像力を生かしながら、聞き手を引き込む議論を展開しました。どちらのチームの主張も説得的でしたが、会場の投票と教員9名の投票により、否定側が勝利しました。



エキシビジョンディベートの様子



エキシビジョンディベートのジャッジ

閉会式では、表彰式のあと、学力向上進学重点校及びエントリー校連絡協議会グローバル教育研究WG・横浜平沼高等学校の小島由美校長先生より、「みなさんの努力と熱意に感銘を受けました。今後も論理的思考力や英語を用いたプレゼンテーションスキルのさらなる向上を期待しています。」と英語でご挨拶いただきました。そして、PDAディベート推進委員長の大賀より「これから生きていく上で、『自分はこう思う』だけではなく、『相手はこう考えるのかもしれない』と他者に想いを馳せることが重要です。ディベートではその力が身につきます。これからも頑張ってください。」とメッセージが伝えられ、交流大会が終了しました。



小島校長先生によるご挨拶



PDA大賀によるご挨拶

## 【表彰】

### 〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・ PM 相模原高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ LO 厚木高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ MG 茅ヶ崎北陵高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ MO 湘南高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ LOR 多摩高校 \_\_\_\_\_さん
- ・ PMR 柏陽高校 \_\_\_\_\_さん



### 〈チーム賞〉

- |     |       |     |         |
|-----|-------|-----|---------|
| 1 位 | 柏陽高校  | 2 位 | 茅ヶ崎北陵高校 |
| 3 位 | 相模原高校 | 4 位 | 厚木高校    |
| 5 位 | 多摩高校  |     |         |



1 位 柏陽高校



2 位 茅ヶ崎北陵高校



3 位 相模原高校



4 位 厚木高校



5 位 多摩高校

### 〈ベストディベータ賞〉 ※2 回以上ベストディベータに選出された生徒

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| ・ _____さん (柏陽) (3 回) | ・ _____さん (柏陽)    |
| ・ _____さん (多摩)       | ・ _____さん (茅ヶ崎北陵) |

### 〈ベスト POI 賞〉 ※2 回以上ベスト POI に選出された生徒

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ・ _____さん (多摩) | ・ _____さん (相模原) |
| ・ _____さん (光陵) | ・ _____さん (横須賀) |

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

### ◎生徒の感想

- ・ 全力を尽くせてよかったです。またやりたいです！（横浜平沼高校）
- ・ ジャッジの先生方のアドバイスがとても参考になり、興味深く、楽しかったです。（横浜平沼高校）
- ・ 18校もの高校が集まり、レベルの高い議論に参加することができ、とても楽しかったです。普段の練習のモチベーションにもなりました。議題が非常に身近あるいは社会的なもので、それらについて考えるきっかけになり良かったです。（横浜平沼高校）
- ・ 色々な意見が出ていて興味深かった。（横浜国際高校）
- ・ 学校外で対戦して他校の英語力の高さや表現力が刺激的だった。（横浜国際高校）
- ・ 強い方々の戦い方を知れてとても参考になりました！！1人1人にコメントをいただけて、とても学びのある会でした！！（横浜翠嵐高校）
- ・ たくさん考えて即興で話すのはとても疲れたが、とても良い経験だった。（光陵高校）
- ・ 友だちできてうれしいです！（光陵高校）
- ・ 来年も再び挑戦したいと思った。（大和高校）
- ・ 自分は英語語得意ではないので、英語が流暢に話せる方や論理的に思考できる人を見ることで、学びになったと思う。（大和高校）
- ・ すごく自分の英語力とコミュニケーション能力が上がったと感じました。来年はエキシビジョン目指して頑張ります。（川和高校）
- ・ 実際に対面で他校とディベートをする機会がなかなか無いので、色々な人の考えを聞けて良かったです。（川和高校）
- ・ やったことがある議題でも新たな視点からの考えを知ることができてよかったです。去年よりもチーム全体の構成力や表現の成長が感じられてとても嬉しかったです。（川和高校）
- ・ まだもっと成長できるなと思った。日本語で反論は思いついても英語で話さなくて結果的に言えずに終わることも多かったので、英語力の向上をもっと頑張りたいと思う。ディベートをもっと頑張りたい、英語を話せるようになりたいというモチベーションを得た1日でした。（川和高校）
- ・ 今まで自分のディベートは固い感じだったため、モデルディベートを見て「こんな自由にやっていいんだ！」って気づきがあった。即席でも自分の伝えたいことを納得できる、ユーモアのある形で伝えるために、論理性と表現力を磨きたいなと思った。（川和高校）
- ・ ディベートが終わると皆仲良くコミュニケーションを取るのも魅力だと思います。ディベートがより好きになりました。（柏陽高校）
- ・ 自分は観戦であったが、とてもハイレベルなディベーターのスピーチを聞いて次はどんなアークギュメントが出るんだろうとワクワクさせられた。（多摩高校）
- ・ 自分が強いところ、また自分の弱いところを知れました。これはジャッチの先生が丁寧に一人一人コメントをしてくれたためだと思います。ありがとうございました。（多摩高校）
- ・ 非常にためになりました！疲れました！（横須賀高校）

- ・頭使いすぎて頭痛い。(横須賀高校)
- ・ディベートの実践・他校との交流など、あらゆる点で学びの多かった一日でした。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。(横須賀高校)
- ・この3回の戦いだけで2年分ぐらい成長したなどおもって人との交流の大切さに気がついた。来年は3年生で出れるかわからないけど来年ももっと成長して出たい気持ちになった！(横須賀高校)
- ・練習の成果がだせてよかったです。(鎌倉高校)
- ・いろんな高校と交流できてすごくうまい人や伝える姿勢がすごい人などを見れて刺激になった。(鎌倉高校)
- ・エキシビジョンマッチに参加した人たちの英語の流暢さや、語彙の多さがすごいなと感じた。わからない単語や熟語が多かったので、もっと勉強しようというモチベーションに繋がった。(横浜緑ヶ丘高校)
- ・いろんな人のディベートの内容や立論がわかった。(横浜緑ヶ丘高校)
- ・対面で試合をすることでまたディベートのやる気が湧き上がってきた。(湘南高校)
- ・自分が伝えたことと相手の解釈が異なっていた時になかなか難しいなと思いました。(湘南高校)
- ・英語が好きな人がこんなにいる、流暢な英会話をする人がこんなにいるんだと世界が広がり楽しかったです。(小田原高校)
- ・本当に英語で行うディベートはめちゃくちゃ面白いし、楽しくて、チームワークも大切だからこれからも部活で取り組んでいきたいなと思った。(小田原高校)
- ・様々なジャッジの方からのアドバイスや他校の生徒の方との交流とても貴重な機会になりました。ありがとうございました。(茅ヶ崎北陵高校)
- ・他の高校のディベートの様子から、学べる事が多かったです。特に、柏陽高校の部長、凄すぎて憧れました。(茅ヶ崎北陵高校)
- ・楽しかったです！！貴重な経験をありがとうございました！(茅ヶ崎北陵高校)
- ・色々な高校と交流して練習方法や学校の話などを聞いて良かった。エキシビジョンマッチの論題が面白かった。(茅ヶ崎北陵高校)
- ・たくさんのリフを頂けて勉強になりました。ありがとうございました。(相模原高校)
- ・3ラウンドとも学ぶ事がたくさんあり、充実した一日でした。(相模原高校)
- ・ジャッジの先生からのアドバイスがとても勉強になった。(厚木高校)
- ・POIをとることができなかつたのが悔しかったが、反論を即興で考えて訴えるというのはあまり普段はできなかつたので、今回はそれができたことが嬉しかった。(厚木高校)
- ・とても勉強になる一日でした。自分の伸びしろが浮き彫りになりました！(希望ヶ丘高校)
- ・普段ならできない英語で話すということと同年代の生徒のレベルを目の当たりにできた。(平塚江南高校)
- ・色々な人と交流できて楽しかったです。さまざまな意見が面白かったです。(平塚江南高校)
- ・これからもディベートを続けたいと思いました！(平塚江南高校)

## ◎教員の感想

- ・今年度も誠にありがとうございました。素晴らしい交流大会となりました。
- ・様々な学校の取り組みを見ることができてよかったです。
- ・今年の大会も盛り上がり大変勉強になりました。また、このような会が18校以外にも拡大していくとありがたいです。
- ・生徒たちが生き生きと頑張っている姿が見れて良かったです。
- ・生徒が対面でディベートし、その後にフィードバックし合う姿がとても清々しくて高校生らしかった。
- ・生徒が知的に戦っていて、生徒同士の交流もあり、良かった。
- ・学ぶことが多かったです。
- ・他校の生徒さんやジャッジの先生方を見ますます自分もスキルアップしなければならぬなと思いました。
- ・運営やジャッジもすごく体系化されていてとても感銘を受けました。

## ◎ジャッジの先生へのコメント

- ・公正なジャッジ、そして的確なアドバイスありがとうございました。
- ・わかりやすいアドバイスをありがとうございました！
- ・ありがとうございました。コメントを元にこれからも精進いたします。
- ・学びになるコメントありがとうございました。
- ・ありがとうございました。結果だけでなくディベートの本質を教えて下さり為になりました。
- ・本日はお忙しい中、本当にありがとうございます 🍵
- ・お忙しい中ありがとうございました。
- ・的確なフィードバックを頂いてとても勉強になりました。
- ・良い意見ありがとうございました！
- ・ジャッジ・フィードバックありがとうございました！
- ・ディベートへの理解が深まりよかったです。
- ・とてもわかりやすくて良かったです。
- ・温かいメッセージをありがとうございます！！自分の良い点・改善点の両方を知ることができてとても参考になりました！！
- ・丁寧にリフレクションいただき、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・本日はありがとうございました。
- ・改善点などが丁寧に良かった。
- ・的確なアドバイス、今後に役立てたいと思います！ありがとうございました！
- ・詳細なアドバイスありがとうございました。次はもっと自信を持って、順序立てて話すようにします！
- ・今日はありがとうございました！
- ・ジャッジありがとうございました。

- ・貴重なお時間でジャッジしてくださりありがとうございました。
- ・発表についてたくさんのフィードバックを下さり、ありがとうございました。普段の練習だけでは気づくことのできない自分やチームの弱点を知ることができ、今後の参考になりました。
- ・具体的にコメントしていただきありがとうございました。特に、ナンバリングやキャラクターライジングなど論理をわかりやすくするための手法を知れたことが良かったです。
- ・ジャッジして頂きありがとうございました！インパクトをはっきりさせる、理由づけを具体的にするという指摘をいただいたので、これからもっと練習して上手になりたいと思いました。
- ・生徒を伸ばそうとするコメントありがとうございました。(教員)
- ・生徒のスピーチの良いところを見つけて褒めてくださり、また細かい改善点やコツなど整理して教えてくださりありがとうございました。(教員)